

第97期のご報告

(2017年度)

2017年4月1日から2018年3月31日まで



odakyu



Investor Express

株主・投資家の皆さまへ

Contents

- 1 株主・投資家の皆さまへ
 - 3 特集(当社の中期経営計画について)
 - 7 セグメント別の概況
 - 9 トピックス
 - 11 連結財務諸表(要約)
 - 12 株主インフォメーション(決議通知)
 - 13 会社の概要
 - 14 CSRの取り組み
- [表紙](#) 株主優待制度のご案内

小田急電鉄株式会社

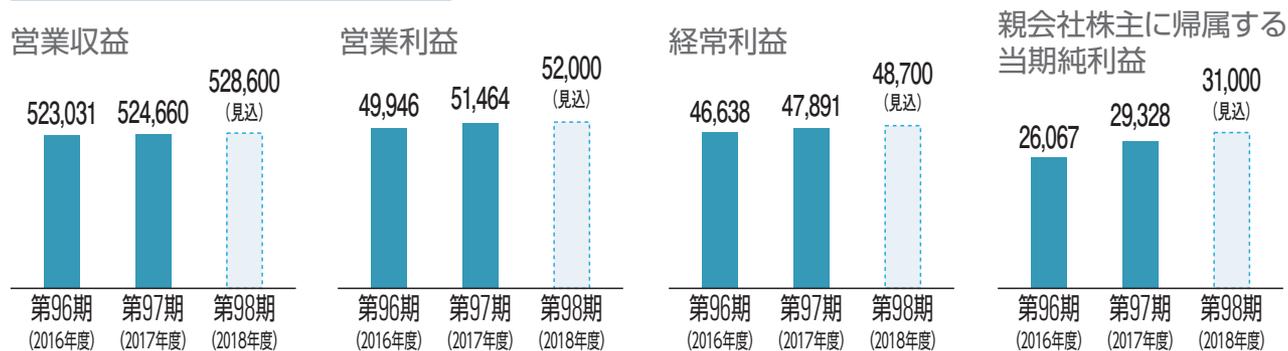
株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますます
ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は小田急グ
ループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第97期の業績および当社グループにおける取り組み
につきましてご報告申し上げます。



取締役社長 星野晃司

連結業績ハイライト (単位：百万円)



第97期(2017年度)連結決算の概要

営業収益は5,246億6千万円と、前連結会計年度に比べ16億2千8百万円の増加(前期比0.3%増)となりました。

これに伴い、営業利益は514億6千4百万円と、前連結会計年度に比べ15億1千7百万円の増加(前期比3.0%増)となりました。

経常利益は478億9千1百万円と、前連結会計年度に比べ12億5千3百万円の増加(前期比2.7%増)となったほか、親会社株主に帰属する当期純利益は293億2千8百万円と、前連結会計年度に比べ32億6千万円の増加(前期比12.5%増)となりました。

第98期(2018年度)の見通し

百貨店業において、(株)小田急百貨店町田店および藤沢店のリニューアルに伴う店舗休業の影響を見込むものの、当社の鉄道事業において、複々線化に伴うダイヤ改正効果を見込むほか、不動産分譲業において、リノベーション物件等の販売の増加を見込むことなどから、営業収益は5,286億円(前期比0.8%増)を見込んでおります。

これに伴い、営業利益は520億円(前期比1.0%増)を見込んでおります。

また、経常利益は487億円(前期比1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は310億円(前期比5.7%増)と、それぞれ増益を見込んでおります。

当社の中期経営計画について

当社グループでは、事業環境変化に対応しグループ経営理念の実現とさらなる事業成長を遂げるため、2020年度までに取り組むべき方向性を示した「長期ビジョン2020」を2015年4月に策定しました。

ここで、この「長期ビジョン2020」における前半3カ年を振り返るとともに、今般公表いたしました「長期ビジョン2020」の修正および後半3カ年の中期経営計画についてお知らせいたします。

詳細については3ページから6ページをご参照ください。

						(年度)
2015	2016	2017	2018	2019	2020	
長期ビジョン2020						
前回中期経営計画			新たな中期経営計画			

事業成長を強く志向した長期ビジョン2020に基づき、小田急グループ各社において、以下のような成長施策が多数進捗いたしました。

テーマⅠ

沿線における複々線完成後のグループ収益を最大化する

複々線の完成および移動空間の価値向上



新型特急ロマンスカー・GSEの就役

沿線まちづくりの推進



海老名駅間地区(VINA GARDENS)開発計画

観光地の魅力向上・訪日外国人の誘引強化



小田急旅行センターのリニューアルオープン

テーマⅡ

2020年度までに成長の種を蒔き育てる

既存事業の沿線外進出



ジローレストランシステムの新規業態 WISE SONS

ホテル事業の拡大



ホテルカンラ京都の増床リニューアルオープン

新規事業の開発、M&Aの活用



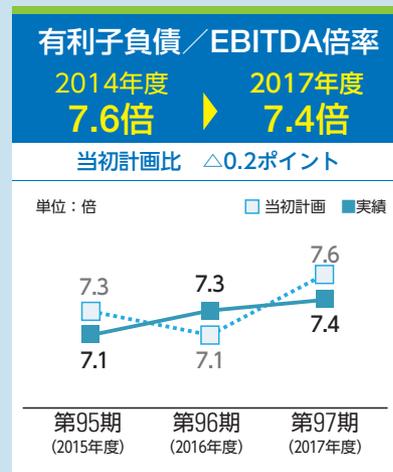
M&Aの推進(株白鳩・株ジェネリックコーポレーション)

また、事業環境の変化に対応するため、事業譲渡を実施いたしました。

- 保育事業
- 介護事業
- ホームセンター事業

連結数値目標の進捗

2020年度における目標として掲げた3つの指標については、営業収益は、事業譲渡等の影響により当初計画を下回りましたが、EBITDAおよび有利子負債／EBITDA倍率は、概ね当初計画どおり推移いたしました。



2018年3月に複々線化の完成および新たなダイヤによる運行を開始！



構想より約半世紀にわたり実施してきました複々線化がついに完成いたしました。朝方ラッシュ時間帯における混雑率は、これまでの190%程度の水準からダイヤ改正後は平均で150%台で推移しており、混雑に起因した遅延も少なくなっています。今後は、複々線効果を最大化するための各種施策に取り組んでいきます。

新たな中期経営計画(2018-2020年)の策定

少子高齢化やAI、IoTの進展等、事業環境の構造的変化により既存業態の陳腐化と新たな事業領域の形成が進んでおり、今後については技術革新が飛躍的に進むなど、事業環境の不確実性が加速度的に増していくと考えられます。

そのような中、変化に対応し躍動的な企業グループを目指していくためには、将来、社会やお客さまに対して提供していきたい価値を描き、それに近づくための挑戦を繰り返していくことが必要と考え、当社グループのありたい姿(4つの価値提供分野とそのために必要な組織)である「未来フィールド」を設定いたしました。



これからの3カ年で取り組むこと

モビリティ × 安心・快適

- 鉄道利用のさらなる増加を目指すとともに、強靱かつ柔軟な対応力の強化、先進的な技術による高度化&省力化を実現いたします
- 次世代テクノロジーを活かし、多様な交通モードのシームレスな連携による移動サービスを受できる生活を実現いたします

まちづくり × 愛着

- まちの個性や特徴を活かした沿線まちづくりの具現化に向けた投資や仕掛けづくりを進めます
- 当社線沿線内外において、組織能力を向上し、事業規模を拡大いたします

くらし × 楽しさ

- 顧客ニーズの多様化やEコマースの進展等、将来にわたり続く変化の中でも価値を提供する未来型商業へ変革いたします
- 当社線沿線での新規コンテンツの創出や地域の取り組みとの関係性強化を図り、沿線エリアへの誘客とまちの賑わいを創出いたします

観光 × 経験

- 地域ならではの魅力をプロデュースし、まちの価値を高めるホテルを出店いたします
- 旅行者や外部パートナーとの接点から得られるさまざまな情報・ノウハウを活用し、新たな商品・サービスを生み出します

わくわく × イノベーション

- 新規事業創造やイノベーションにつながる人材とアイデアを育てる仕組みを構築し、社員が夢を持ってチャレンジできる機会を生み出します
- 新たな価値創造やチャレンジの基盤として、社員一人ひとりの考え方や能力等を最大限に活かすために、ダイバーシティ、働き方改革をはじめとした、各種制度・環境整備を実施いたします

運輸業

営業収益

176,183百万円

(前期比 1.9%増)

営業利益

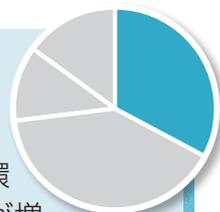
28,122百万円

(前期比 1.7%減)



売上高構成比

33.0%



当社の鉄道事業において雇用環境の改善等により定期的な輸送人員が増加したほか、箱根エリアの観光需要が好調に推移したことなどから、営業収益は増収となりました。

一方、営業利益は、当社の鉄道事業において費用が増加したことなどから、減益となりました。

流通業

営業収益

214,479百万円

(前期比 2.2%減)

営業利益

4,647百万円

(前期比 46.4%増)



売上高構成比

40.2%



百貨店業において訪日外国人による免税売上が増加したものの、ストア業等において、外部への株式譲渡に伴い(株)ビーバートザンが連結除外となったことなどから、営業収益は減収となりました。

一方、営業利益は、百貨店業において費用が減少したことなどから、増益となりました。

※売上高構成比は外部顧客に対する売上高に基づき算出しております。

不動産業

営業収益

68,578百万円

(前期比 1.9%減)

営業利益

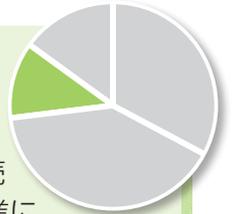
12,538百万円

(前期比 1.3%増)



売上高構成比

11.9%



不動産分譲業において住宅販売戸数が増加したほか、不動産賃貸業において前期に取得した物件の賃料収入が寄与したものの、UDS(株)を不動産業からその他の事業へセグメント変更したことなどから、営業収益は減収となりました。

一方、営業利益は、不動産賃貸業における増益が寄与したことなどから、増益となりました。

その他の事業

営業収益

105,023百万円

(前期比 5.5%増)

営業利益

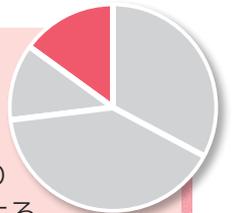
5,967百万円

(前期比 5.4%増)



売上高構成比

14.9%



UDS(株)を不動産業からその他の事業へセグメント変更したことによる影響のほか、ホテル業において、シティホテルの「ハイアット リージェンシー 東京」で、前期に実施した改修工事に伴う売り止めからの反動があったことに加え、箱根のリゾートホテルも好調に推移したことなどから、営業収益は増収となりました。

これに伴い、営業利益も、増益となりました。

特急ロマンスカー・GSE (70000形) 運行開始

新型特急ロマンスカー・GSE(70000形)が2018年3月17日に運行を開始いたしました。

愛称の「GSE」は、開発コンセプトである「箱根につづく時間(とき)を優雅に走るロマンスカー」をもとに、優雅さをあらわす「Graceful」を用い、『Graceful Super Express』を略しています。

展望席は、大型の一枚ガラスを使用し、ダイナミックな眺望と開放的な空間を創出しています。さらに、車両側面には高さ1mの連続窓を使用することで、どの座席からも眺望の広がりを感じていただけます。

また、左右の振動を抑制する装置の導入や、授乳時や体調不良時などにご利用いただける多目的室、大型荷物が収納できるスペースなど快適な車内空間を提供いたします。



「ロマンスカーミュージアム」 海老名駅隣接地に開業が決定

2021年春、海老名駅の隣接地に「ロマンスカーミュージアム」が開業いたします。「子ども」も“大人”も楽しめる鉄道ミュージアム」のコンセプトのもと、歴代の車両の展示や、沿線の風景を模したジオラマ、電車運転シミュレーター、お子さまが自由に遊べるキッズゾーンなど、幅広い世代がお楽しみいただける施設を目指します。

開業予定地は、鉄道の重要拠点である海老名電車基地と開発の進む「VINA GARDENS」にも隣接しています。小田急線の歴史を後世に伝えていくとともに、新しく誕生する街のシンボルとして、新たな賑わいを創出します。



沖縄・宮古島に「HOTEL LOCUS」グランドオープン



沖縄UDS(株)は、地元企業と連携して沖縄県宮古島市に「HOTEL LOCUS」(ホテル ローカス)を、2018年1月22日に開業いたしました。国内外からの観光需要の高い沖縄において、小田急グループとして初出店となるホテルです。

当ホテルは、島全体を1つの魅力溢れるリゾートとして楽しんでいただける「体験型リゾート」を目指しており、宮古島ならではのマリンアクティビティや食、文化などのローカルな魅力を、ホテルオリジナルの豊富なプログラムとして編集し、お客さまに提案いたします。



セブン&アイ・ホールディングスと業務提携に関する基本合意を締結

当社および小田急商事(株)はセブン&アイ・ホールディングスとの間で、小田急商事の運営するスーパーマーケット事業、駅構内売店事業、コンビニエンスストア事業の業務提携について基本合意いたしました。

Odakyu OXにおいては、セブン&アイグループの運営ノウハウを習得し、事業基盤の強化、店舗網の拡大によるドミナント形成を図るとともに、Odakyu SHOPおよびOdakyu MARTは、セブン-イレブンのフランチャイズ



店舗への転換を図ることで、流通事業を強化いたします。

「新百合ヶ丘エルミロード」1、2階専門店フロアがリニューアルオープン

新百合ヶ丘駅前の商業施設、「小田急新百合ヶ丘エルミロード」の1、2階専門店フロアをリニューアルオープンいたしました。

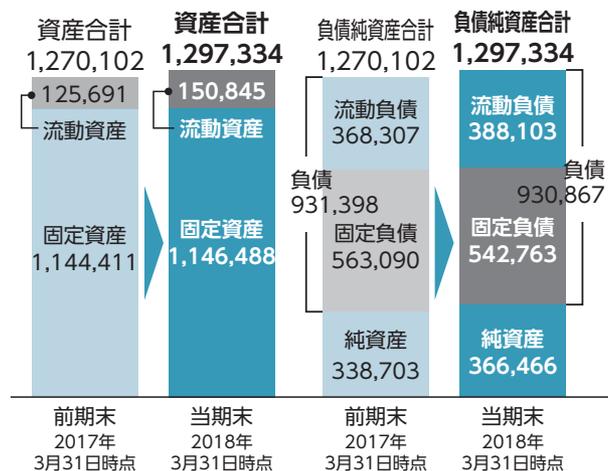
世界中からセレクトされた食材を扱う「ザ・グロッサリー&ワイン byサンクゼール」が南関東エリアで初出店するなど、新たに5店がオープンしたほか、既存3店舗がリニューアルいたしました。

また、施設の象徴であるエントランスや吹き抜け広場など館内共用部も刷新し、さらに居心地が良く、滞在が楽しめる空間を提供しております。



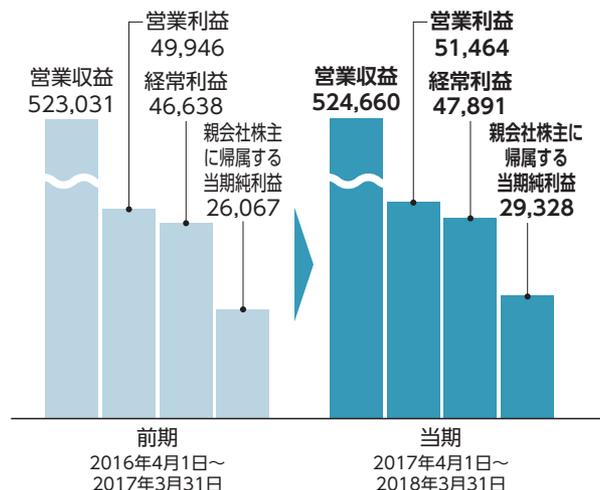
連結貸借対照表

単位：百万円



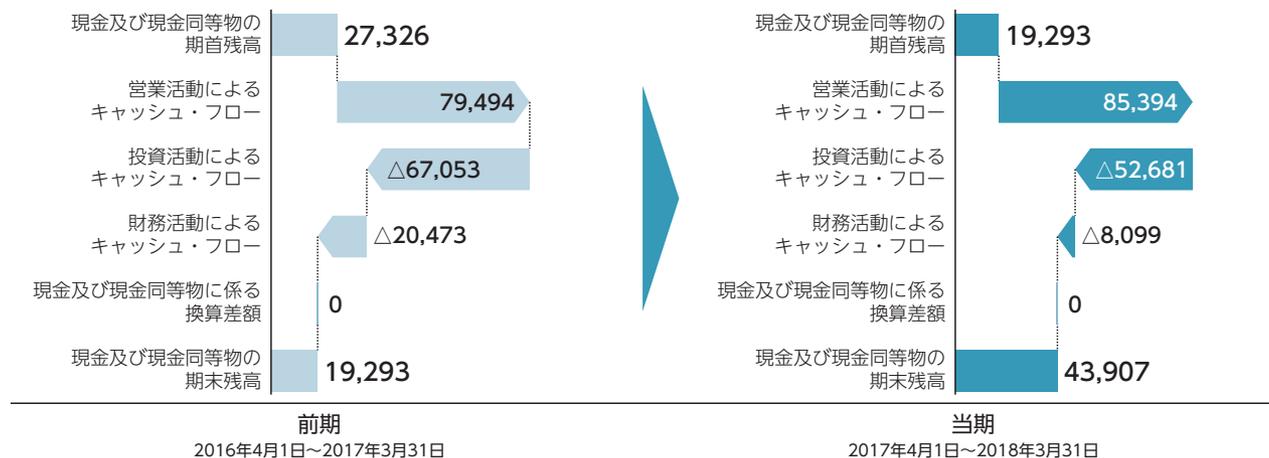
連結損益計算書

単位：百万円



連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円



第97回定時株主総会決議等ご通知

2018年6月28日開催の第97回定時株主総会において、以下のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

報告事項

- ① 第97期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
上記事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果についてそれぞれ報告いたしました。
- ② 第97期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)計算書類報告の件
上記計算書類の内容について報告いたしました。

決議事項

●第1号議案 剰余金の配当の件

原案のとおり承認可決され、第97期の期末配当について以下のとおり決定いたしました。

- (1) 配当財産の種類
金銭
- (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額
当社普通株式1株につき金10円
総額3,623,918,540円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日
2018年6月29日

これにより、当期の中間配当金(1株につき10円)を加えた1株当たりの年間配当金は、前期(1株につき19円^{*1})に比べ1円増配の20円となります。

^{*1} 2016年10月1日付で実施の株式併合後の基準で換算した金額であります。

●第2号議案 定款一部変更の件

原案のとおり承認可決されました。なお、変更の概要は以下のとおりであります。

2018年5月18日開催の当社取締役会において「当社株式の大規模買付行為に関する対応策」を継続しない旨を決議したことに伴い、所要の変更を行いました^{*2}。

●第3号議案 取締役15名選任の件

山木利満、星野晃司、小川三木夫、下岡祥彦、山本俊郎、荒川 勇、五十嵐秀、森田富治郎、野間口有、中山弘子、小柳 淳、抱山洋之、端山貴史の各氏が再選されるとともに、長野真司、立山昭憲の各氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。なお、上記のうち、森田富治郎、野間口有、中山弘子の各氏は社外取締役であります。

●第4号議案 監査役1名選任の件

宇佐美淳氏が新たに選任され就任いたしました。

●第5号議案 取締役に対する株式報酬等の額および内容決定の件

原案のとおり承認可決され、新たに信託を用いた株式報酬の支給を目的とした株式報酬制度を導入いたしました^{*2}。

●第6号議案 取締役の報酬額改定の件

原案のとおり承認可決され、取締役の報酬額を「年額4億7千万円以内(うち社外取締役6千万円以内)」に改定いたしました。

^{*2} 第2号議案および第5号議案につきましては、2018年5月18日当社プレスリリースをご参照ください。

以上

第97期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」により、ゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。また、銀行等の口座への振込をご指定の方には、「お振込みについて」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしました

のでご確認ください。なお、すべての方に同封いたしております「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額の確認資料や、確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただけます(株式数比例配分方式をご指定の方につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください)。

会社概要

設立	1948年6月1日 (前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立)
本社事務所	東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
資本金	603億5千9百万円
発行済株式の総数	368,497,717株
株主数	54,474名 (前期末比 1,266名増)
事業内容	鉄道事業、不動産業、その他事業
従業員数	3,726名

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
同総会議決権行使 株主確定日	3月31日
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告により行う。
ホームページアドレス	https://www.odakyu.jp/ir/koukoku/index.html

役員

2018年6月28日時点

代表取締役 取締役会長 執行役員	山木利満	常勤監査役	石井良雄
代表取締役 取締役社長 執行役員	星野晃司	常勤監査役	宇佐美 淳
代表取締役 取締役副社長 執行役員	小川三木夫	監査役	宇野郁夫
常務取締役 執行役員	下岡祥彦	監査役	深澤武久
常務取締役 執行役員	山本俊郎	監査役	伊東正孝
常務取締役 執行役員	荒川 勇		
常務取締役 執行役員	五十嵐 秀	執行役員	黒田 聡
取締役 執行役員	長野真司	執行役員	水上秀博
取締役 執行役員	立山昭憲	執行役員	鈴木 滋
取締役	森田 富治郎	執行役員	山口 淳
取締役	野間口 有		
取締役	中山弘子		
取締役	小柳 淳		
取締役	抱山洋之		
取締役	端山貴史		

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

1 マイナンバー制度とは

マイナンバー制度(※)とは、国民一人ひとりにマイナンバーを配布し、その番号によって複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための新しい社会基盤です。

(※)行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号)

2 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主さまのマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。

主な 支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

3 マイナンバー制度に関する株主さまへのおお願い

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社または三井住友信託銀行へマイナンバーをお届出いただく必要があります。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座にて株式を
管理されている株主さま

お取引の証券会社まで
お問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主さま

下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031

マイナンバーの保護措置・利用範囲・ご提供について

- マイナンバーの取扱いには、法律により厳格な保護措置が設けられています。
- マイナンバーの利用範囲は、社会保障・税・災害対策の行政手続に関する事務に限定されています。
- 社会保障・税・災害対策に関する事務に限定して、マイナンバーのご提供をお願いすることが可能となっております。

このページでは、当社グループが行う
CSR活動についてご紹介をしていきます。

環境にやさしいロマンスカー・GSEデビュー



当社グループでは、地球温暖化防止のため使用電力の削減に積極的に取り組んでいます。なかでも、電車は便利な移動手段であると同時に、ほかの交通機関と比べ、エネルギー効率が高く、エコな乗り物です。

9ページのトピックスでもご紹介いたしましたとおり、「より多くのお客さまに、快適で楽しさを感じるロマンスカーで箱根を訪れていただきたい」という思いを込めて、特急ロマンスカー・GSEが運行開始しております。こちらの車両は、快適性や安全性はもちろんのこと、環境面へも配慮した車両となっており、1980年にデビューしたロマンスカー・LSEと比較すると、最新のVVVFインバーター制御装置や回生ブレーキの導入等により、消費電力を約80%削減しています。

株主優待制度のご案内

500株以上保有の株主さまに、半期に1回保有株式数に応じた優待乗車証のほか、小田急グループ200以上の店舗・施設でご利用いただける優待割引券をお送りいたします。

株主優待乗車証

優待乗車証と優待割引券はお手元に届いたときからご利用いただけます。

保有株式数	乗車証の種類		
	小田急線全線 優待乗車証		小田急線全線・ 小田急バス全線優待乗車証
	回数券式*	定期券式	定期券式
30,000株以上 (①～③より選択)	①	30枚	—
	②	60枚	1枚
	③	140枚	—
15,000株以上 (①～②より選択)	①	30枚	1枚
	②	110枚	—
10,000株以上	—	80枚	—
5,000株以上	—	40枚	—
3,500株以上	—	30枚	—
2,500株以上	—	20枚	—
1,500株以上	—	10枚	—
500株以上	—	4枚	—



3年以上継続保有追加枚数
小田急線全線 優待乗車証 回数券式*
5,000株以上保有 6枚追加
1,500株以上保有 3枚追加
—

*回数券式は1枚1乗車有効

そのほかの各種ご優待例

- 小田急百貨店、Odakyu OX
お買物割引券
- 小田急グループホテル
宿泊割引券、レストラン・バー割引券
- 箱根湯寮ほか
箱根エリア施設各種割引券

※掲載している株主優待制度は一例です。詳細に関しては、当社ホームページ「株主の皆さまへ」をご覧ください。
※一部割引除外となる場合がございます。また、優待の内容については変更する場合がございます。

15,000株以上の株主さまの特典

- 小田急藤沢ゴルフクラブ
1,000～3,000円割引
- 小田急西富士ゴルフ倶楽部
約2,000～6,000円割引
- 小田急電鉄カレンダープレゼント
※9月30日時点の株主さまが対象

今後の日程

- 2018年 9月30日：基準日(権利付最終日25日)
 - 2018年 11月下旬：株主優待ご送付
- ※掲載の内容は2018年6月時点での予定です。

株主さま向け施設見学会のご報告

複々線完成を記念し、運転開始前の2018年2月26日(月)に「株主さま向け施設見学会」を開催いたしました。

当日は、複々線化事業概要をご説明後、世田谷代田～下北沢駅間の地下トンネルや小田急環境ルームをご見学いただきました。

参加された株主さまの声(抜粋)

- 体験できないことを初体験できてとてもよい見学会でした。
- 供用開始の直前で、列車が通ることを想像しながら見学ができるこの時期に開催していただけたことは嬉しく思いました。
- 貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。3月3日以降小田急線に乗るときがとても楽しみです。



地下トンネル内のご見学



小田急環境ルームのご見学